

のズ  
屋フーズ  
酒創  
居豊

# 農業生産法人に出資

## トマトなど栽培、店で使用

【さいたま】居酒屋チエーン（東京・文京、桐山和巳社長）は埼玉県滑川町で地元農家がつくる農業生産法人に出資し、トマトやナス、キュウリなどの生産を始める。生産者のはっきりした野菜を安定的に仕入れ、同社が経営する居酒屋

の料理に使う。都内に持つ直売所での販売も計画している。

年間420トのトマトを生産している農業生産法人に10月に15%を出資。名称を「グリーンファームらばん」（滑川町、渡辺聖文社長）に変更した。栽培面積は5・3ヘクタール。

豊創フーズは都内を中心にフランチャイズチェーン（FC）店を含め約60店展開している。今後はこれらの店で使うトマトに加え、キュウリ、ナス、パプリカなどの野菜を生産する。

農業生産法人への出資により、生産履歴がはっきりとした野菜を計画的に直接仕入れることで流通コストを削減できるほか、形が悪く市場に流通しない野菜も安く利用できるという利点もある。農業生産法人にとっても、大口の出荷先確保で生産計画が立てやすくなる。



豊創フーズが出資した「グリーンファームらばん」は県内最大級のトマト生産者

が生産した野菜は同社が都心部に2店展開している。これまで契約農家が生産した野菜類を販売していたが、今回グリーンファームらばんに出資することで安定供給をはかり、直売店を今年度中に新規に5店開設する。

豊創フーズは1979年創業。焼鳥店「串八珍」や中華居酒屋「XIAN」などをチェーン展開。2010年7月期の売上高は約43億円。